

都議会公明党ニュース

2015年
冬季号

発行 / 都議会公明党 〒163-8001 新宿区西新宿 2-8-1 ご意見、ご要望は都議会公明党までお願いします。
TEL.03-5320-7250 FAX.03-5388-1787
http://www.togikai-komei.gr.jp/

都議会議員 **伊藤こういち** 通信



東京都議会 第四回定例会特集

夢や希望の持てる社会実現へ!!

東京都議会の第四回定例会（11月28日～12月25日）の代表・一般質問で都議会公明党は、オリンピック・パラリンピック施策、福祉や医療、産業施策などの分野で積極的に議論を展開しました。

「東京都長期ビジョン」を発表

都は、夢や希望の持てる社会の実現に向けた10年間の具体的な工程表として「東京都長期ビジョン」を発表しました。

～目指すべき将来像～ **「世界一の都市・東京」の実現を目指して**

将来像の実現に向けた2つの「基本目標」

- 基本目標Ⅰ 史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現
- 基本目標Ⅱ 課題を解決し、将来にわたる東京の持続的発展の実現

政策の方向性を示す8つの「都市戦略」

- ①成熟都市・東京の強みを活かした大会の成功
- ②高度に発達した利用者本位の都市インフラを備えた都市の実現
- ③日本人のこころと東京の魅力の発信
- ④安全・安心な都市の実現
- ⑤福祉先進都市の実現
- ⑥世界をリードするグローバル都市の実現
- ⑦豊かな環境や充実したインフラを次世代に引き継ぐ都市の実現
- ⑧多摩・島しょの振興

政策全体に共通する5つの視点

- ①経済の活性化と生活の質の向上
- ②先端技術の積極的な活用
- ③ハードとソフトの融合
- ④女性の活躍、高齢者の社会参加
- ⑤官民の政策連携と規制緩和



オリンピック・パラリンピック

「レガシービジョン」を策定

都は、2020年東京大会実施準備会議の特命組織として「レガシー委員会」を立ち上げ、全庁的体制で、レガシーの検討を始めました。大会後の競技施設活用などのハード面とスポーツ、観光、教育などのソフト面の両面についても検討を進め、2020年大会のレガシーの全体像を来年度「レガシービジョン」として取りまとめていきます。



※レガシービジョン：オリンピックを契機に次世代に継承していく施設などの有形財産や文化・教育などの無形財産を展望する計画のこと

被災地支援

被災地の復興なくして東京五輪の成功なし

これまで都は、3万人を超える職員の派遣、被災地応援ツアーなど、総力を挙げて被災地を支え、また1000km縦断リレーや被災地子どもたちとのスポーツ交流など、スポーツの力で被災地復興を支援する様々な事業を展開してきました。引き続き、被災者の方々に寄り添い、真に役立つ支援に取り組んでいきます。



認知症対策

医療体制を整備

現在、見守りまたは支援が必要な認知症高齢者は、高齢者人口の約1割となり年々増加傾向にあります。そこで都は、区市町村単位で、専門医療相談や認知症の診断ができる「診療所型等の認知症疾患医療センター」を設置し、既存の都内12のセンターを基幹としたネットワークを構築することにより、身近な地域で認知症の方とその家族を支える体制を整備していきます。

早期発見・早期治療

認知症の原因はさまざまあり、根本的な治療はまだ確立されていませんが、早期発見によって改善する場合や、進行を遅らせることが可能な場合もあります。今後、都は早期発見・早期治療を進めるため、認知症初期集中支援チームを全区市町村に配置できるよう推進していきます。

都独自の取り組みを推進

認知症高齢者を抱える家族にとって、最大の課題が「徘徊」です。そのためには地域で見守るネットワークの構築が大変に重要です。現在都は、区市町村がいつでも行方不明高齢者等の情報を更新し、最新情報を閲覧できる「関係機関向け情報共有サイト」の構築を独自に進めています。今後とも地域で見守るネットワークづくりに取り組んでいきます。

